

MAXZEN

2ドア冷凍冷蔵庫 家庭用

JR282ML01

取扱説明書

もくじ

ご利用前に

安全上の注意	2
使用上の注意	8

各部のなまえ

本体前面・内部	9
本体背面・同梱品	10

据え付けるときは

据え付け場所について	11
末永くお使いいただくために	12
移動・運搬するとき	12
アース・漏電遮断器について	13

使用方法

はじめに	14
設置のしかた	14
食品の保存について	16
切換レバーについて	17
冷凍室の使いかた	17
自動霜取りについて	17
ドア閉め忘れアラーム	17
氷のつくりかた	17
部品の取り外し・取り付けかた	18

お手入れ方法

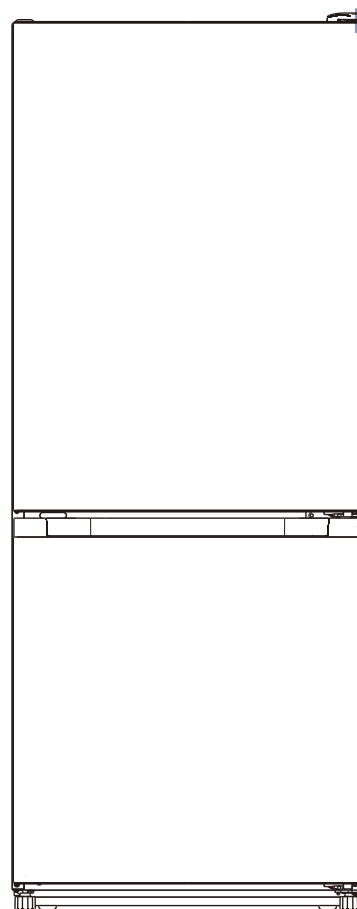
お手入れのしかた	19
----------	----

お困りのときは

こまったときは	20
年間消費電量について	22
製品仕様	23

アフターサービス

修理サービスについて	24
保証書	25



この度はMAXZEN製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品を安心してお使いいただくために、必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

この取扱説明書は、大切に保管していただき、不明点がある場合にご活用ください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

マクスゼン株式会社

安全上の注意 必ずお守りください

本製品を正しく安全に使用するためには、本製品を使用して周囲に危険や財産的損害を与えるような重要な事項に注意してください。この製品を使用する前に、「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。



警告

この表示の注意事項を守らずに誤った使い方をすると、死亡または重傷を負う危険性があることを示します。



注意

この表示の注意事項を守らずに誤った使い方をすると、損害または物的損害が発生する危険性があることを示します。



強制事項(必ず行う)を示します。



禁止事項を示します。

警告



必ず守る

電源プラグのホコリ等を定期的に取り除く

電源プラグのホコリ等は乾いた布で取り除いてください。汚れたまま使用すると絶縁不良が起こり火災の原因になります。※お手入れの際には電源プラグを差込口から必ず抜いてください。



必ず守る

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートによる火災・感電の原因になります。



必ず守る

表示された電源電圧で使用する

表示された電源電圧以外で使用すると、発熱による火災の原因となります。また、コンセント・配線器具の定格を超える使い方はしないでください。※自動車や船舶では使用しないでください。



必ず守る

お手入れ・庫内灯を交換する際は電源プラグをコンセントから抜く

火災や感電の原因になります。



水ぬれ禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

電源プラグを水につけたり、水をかけたりしないでください。感電やけがの原因になります。



電源コードを束ねて通電しない

過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。



電源プラグが破損するようなことをしない

ねじる、引っ張る、無理に曲げる、束ねる、加工する、本体で挟み込む、火に近づけるなどしないでください。火災や感電の原因になります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、使用を中止しマクゼンテクニカルセンターへお問い合わせください。



不安定な場所に設置しない

製品が斜めになる場所などには設置しないでください。機器が落ちたり倒れてけがをするおそれがあります。



地震等による転倒防止の処置をする

地震による振動等により本体が倒れ、けがの原因になります。



風通しが良いところに、すき間を空けて設置する

せまい場所に設置すると、過熱の原因になるだけでなく、冷媒がもれ出したときは、滞留して発火・爆発の原因になります。



異常などがあるときは使わない

変形、熱を持つ、煙が出る、異音・異臭がするなどの場合に使用を続けると、火災や感電の原因になります。



子供による事故等の防止

- この機器は、安全に責任を負う人の監視又は指示がない限り、補助を必要とする人(子供を含む)が単独で機器を用いることを意図していない。
- この機器で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。



お手入れのとき、金属たわし、みがき粉、ベンジン、ベンゾール、シンナーなどは使わない

変形や故障の原因。火災ややけどの原因になります。



必ずアースを取り付ける

ご使用前に必ずアースを取り付けてください。湿気の多い場所や水気のある場所に設置する場所は、アース(接地)・漏電遮断器を取りつけてください。詳しくは本書13ページ「アース・漏電遮断機について」をご覧ください。



本体に水がかかるような使い方をしない

本製品は防水ではありません。浴室や水しぶきのかかるところで使用したり、本体を水で洗ったりしないでください。また、本体の上に花瓶や化粧品、植木鉢、薬品などの液体入り容器を置かないでください。機器内部のショートや発熱により、火災や感電の原因になります。



アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針の アース線には絶対に接続しない

爆発・火災の原因になります。



冷却回路(配管)を傷付けない

可燃性冷媒を使用しているので、冷媒が漏れると発火、爆発の原因。冷却回路(配管)を傷付けたときは、火気を避け窓を開けて換気し、販売店にご相談ください。



可燃性ガスや引火しやすい物を庫内に入れたり、本 体の近くで使わない

ガソリン・灯油・シンナーなど引火性のあるものを入れないでください。故障や火災、爆発の原因になります。



屋外で使用しない

故障して、ショートや火災の原因になります。



脱臭機などの電気製品を庫内に入れない

感電や引火、爆発の恐れがあります。



ガス漏れが発生した場合は、すぐによく換気をする

本体や電源プラグには触れず、窓を開けてよく換気をしてください。換気をせずに使用すると引火爆発し、火災ややけどの原因になります。



廃棄などで保管するときは、必ずドアパッキンを外す

小さなお子さまが庫内に閉じ込められる危険があります。



廃棄するときは、販売店や市町村に引き渡す

放置すると、冷媒もれによる発火・爆発の原因になります。



分解したり、修理・改造をしない

発火したり異常動作してけがをすることがあります。また、保証対象外となります。



製品やドアに乗ったり、ぶら下がったりしない

ドアが外れたり、本体が倒れてけがをすることがあります。また、本体の故障の原因になります。



製造業者が推薦するもの以外の、霜取りを速めるための機械的な器具、及びその他の手段を用いない

庫内に冷媒が漏れている場合に、接点の火花で発火の恐れがあります。



製造業者が推奨する形式の電気機器以外、食品貯蔵庫内で用いない

冷却回路を傷つけガス漏れ、引火の恐れがあります。



先の尖ったものや、金属製のものでお手入れしない

庫内の破損や機器の故障の原因になります。



本体背面の冷却回路を傷つけない

本体背面の冷却回路（配管）には可燃性冷媒を使用しています。傷がつくと感電や引火、爆発の恐れがあります。万が一傷ついた場合は、すぐに窓をあけて換気し、弊社サポートセンターまでご相談ください。

注意



電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って引き抜く

コードの断線、感電やショートによる火災の原因になります。



長期間使用しないときは電源プラグを抜く

感電や漏電火災の原因となります。



製氷室のものを濡れた手で触らない(特に金属の容器)

ぬれた手で触れるとくっついて凍傷の原因になります。くっついてしまったときは、水をかけてはがすか、流水で洗い流してください。凍傷と思われるときは、ただちに医師の診断を受けてください。



冷凍室にビン類を入れない

中身が凍って膨張し、容器が割れてけがをすることがあります。



冷凍室に炭酸飲料を入れない

破裂する恐れがあります。



異臭・変色している食品は口に入れない

食中毒になる恐れがあります。異臭や変色の食品は腐敗している恐れがあります。口に入れると食中毒や体調を崩す恐れがあります。



食品を棚より前に出さない

ビン類などが引っ掛かって落下し、けがをすることがあります。



熱いものは入れない

熱いものは、必ず冷めてから入れてください。ガラスの棚は、急冷・急熱すると割れることがあります。



温度管理が厳しい物を入れない

医薬品や学術試料など、温度管理が厳密に定められているものを保存することはできません。



移動の際は必ず二人以上で本体を持ち上げて移動する

- 本体を引きずると床を傷つける恐れがあります。傷つきやすい床に設置する場合は保護用の板などを敷いてください。
- 移動するときは二人以上で背面上部と下部前脚を持ってください。他のところを持つと手が滑ってけがをする恐れがあります。
- 本体底面に手や足を入れないでください。鉄板の底面でけがをする恐れがあります。



横倒しに置かない

コンプレッサーや冷却回路が破損し、冷媒がもれると火災の原因になります。



お手入れのときは棚の取り付けは確実にする

落下すると、けがや保存物の破損の原因になります。



電気冷蔵庫本体底面に手をいれない。

清掃するとき、底面に手を入れると鉄板の端面などで手を切る原因になります。



本体背面の機器部分に触れない

圧縮機等が高温になるため、やけどの恐れがあります。



ドアを強く開閉しない

食品の落下でケガの原因になります。



他の人がさわっているときは、開け閉めしない

ケガの原因になります。



本体を倒したり、本体に強い衝撃を与えない

本体を倒したり、たたくなどの衝撃を与えないでください。故障や思わぬ事故につながる恐れがあります。



高温になる場所に設置しない

直射日光が当たる場所や暖房機器の近くには設置しないでください。故障の原因になります。

使用上の注意 必ずお読みください

- 電源コードに、亀裂やすりきずがありませんか？
- 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？
- 電源プラグに異常な発熱はありませんか？
- 電源プラグの刃及び刃の取付け面にホコリが付着していませんか？

注意

圧縮機や配管に手を触れないでください。運転中や停止直後の圧縮機や配管は、高温になっていますのでやけどやケガのおそれがあります。

- この機器は安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子どもを含む)が単独で機器を用いることを意図しておりません。
- 子どもがこの機器で遊ぶことがないように、注意してください。

❗ おことわり

- 使いはじめはドアを開けた時、構造材などの臭いがすることがありますが、ご使用するにしたがい消えますので、そのままお使いください。
- 本体の側面及び背面などが熱くなることがあります。これは放熱パイプを内蔵し、露付きを防止しているためです。使いはじめや夏場は特に熱くなりますが、異常ではありません。
- 使いはじめや起動時は圧縮機の音が若干大きくなります。

知っておいていただきたいこと

長期間使用しないとき

- 庫内を清掃した後、2~3日間ドアを開けて乾燥させてください。
(カビやにおいを防ぐためです。)

停電のとき

- ドアの開閉を少なくしてください。また、新たな食品の保存を控えてください。

転居のとき

- 故障の原因となりますので、横積みはしないでください。
- この電気冷蔵庫は50/60ヘルツ共用ですので、周波数の切り換えは必要ありません。

一度抜いた電源は すぐに差し込まない

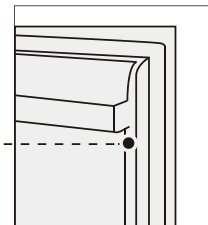
- 圧縮機に負担がかかり、故障の原因になります。
すぐ差し込まずに6分以上待ってから差し込んでください。

不良ではありません

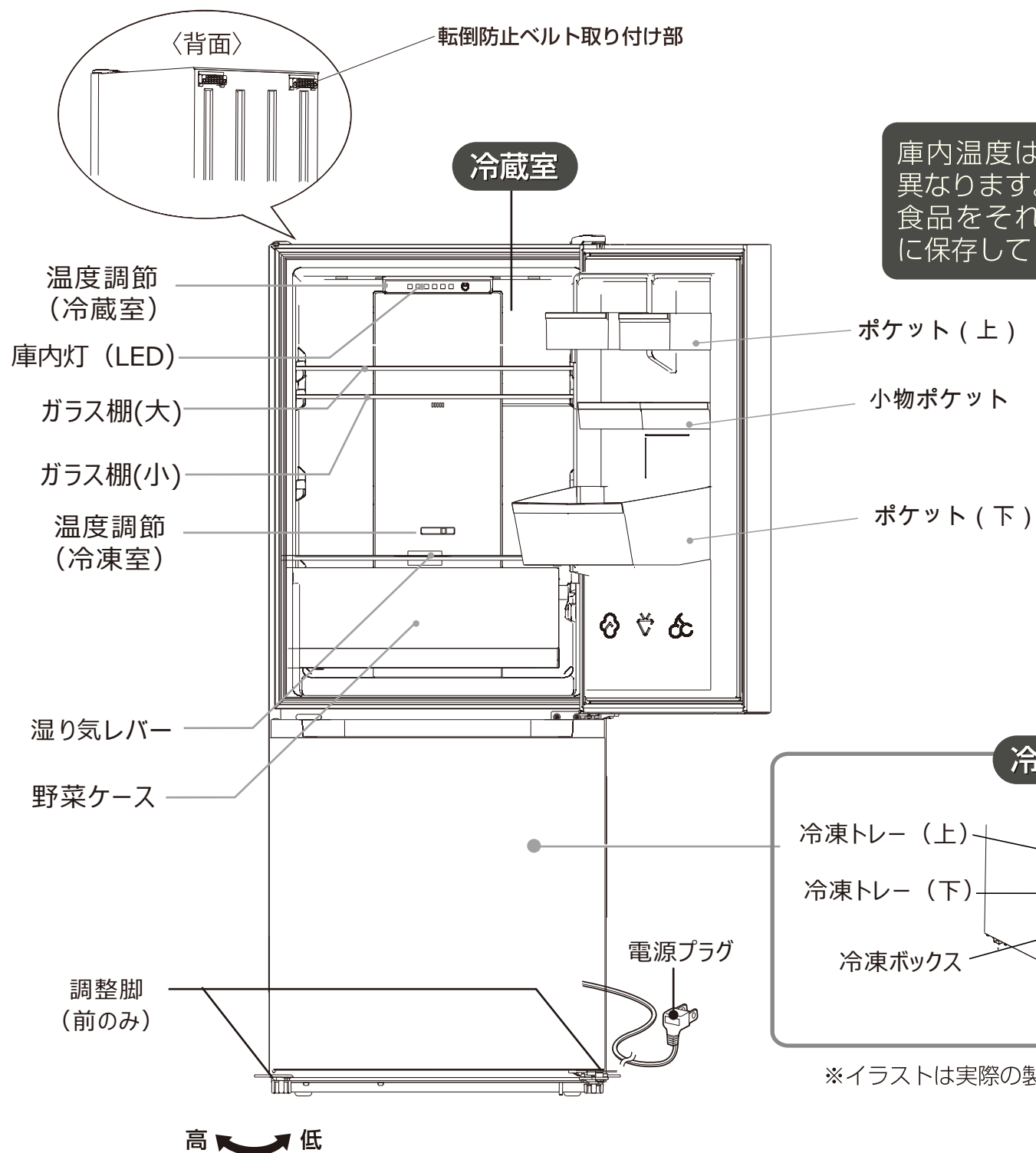
※ 次のものは生産上の不良ではありません。安心してお使いください。

- プラスチック部品の割れや傷のようなスジ
部品成型時に注入された樹脂材料の合流箇所や、金型の接合部です。
割れに至ることはありません。
- ドア内側の小さな穴。
ドアの断熱材発泡工程において内部空気を抜くために設けられた穴です。

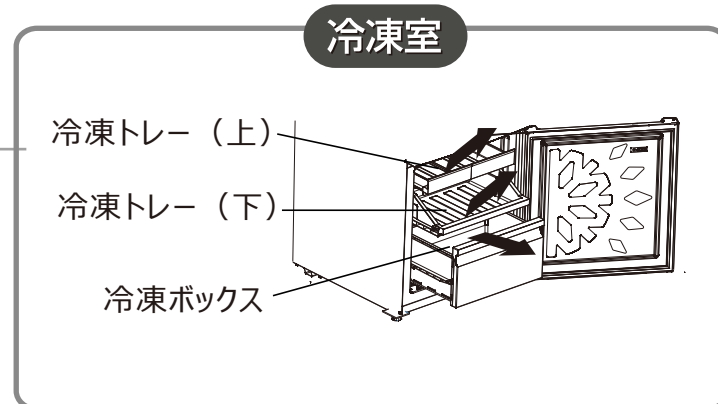
空気抜き穴(数箇所あります)



各部のなまえ



庫内温度は、場所によって異なります。
食品をそれぞれ適切な場所に保存してください。

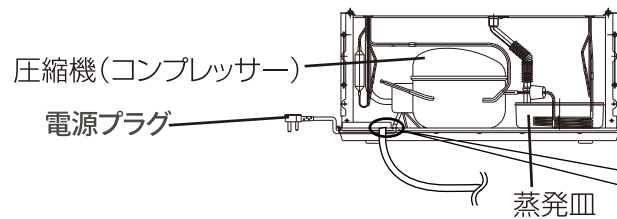


※イラストは実際の製品と多少異なります。

各部のなまえ (つづき)

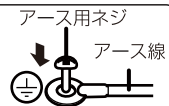
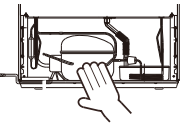
本体背面

本体背面に接続されている線は絶対に外さないでください

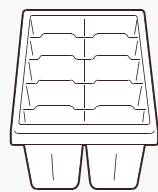


圧縮機

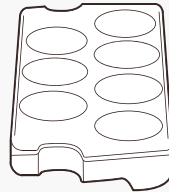
圧縮機は高温になりますので、手を触れないでください。



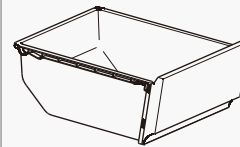
同梱品



製氷皿



卵ケース



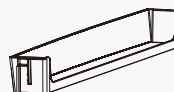
野菜ケース



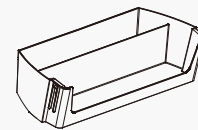
冷蔵室仕切り棚 × 2



冷蔵室ポケット(上)



冷蔵室小物ポケット



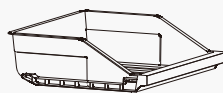
冷蔵室ポケット(下)



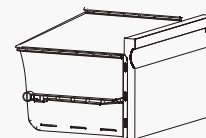
仕切り棚(湿り気レバー)



冷凍トレー(上)



冷凍トレー(下)



冷凍ボックス



取扱説明書(保証書付き)

据え付けるときは

据え付け場所について



注意

- 移動の際は、ドアやドアヒンジを持って運ばないでください。
- 床が、フローリング、じゅうたん、畳、塩化ビニール製の床材のときは、熱などの変形防止のため、下に丈夫な板を敷いてください。

床が丈夫で水平なところ

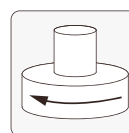
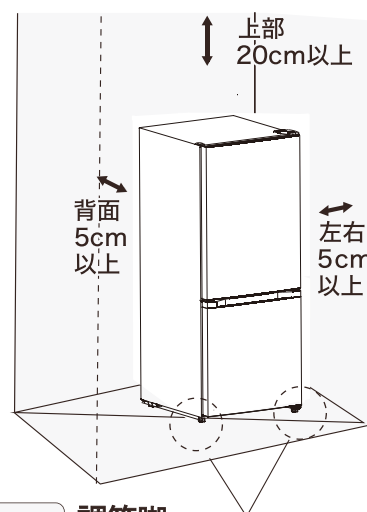
- 不安定な据え付けは、振動や騒音の原因になりますので床が丈夫で水平なところに据え付けてください。
- 熱による変色防止のため、じゅうたん、たたみ、塩化ビニール製の床材には、下に丈夫な板を敷いてください。

風通しのよいところ

- 右図のように電気冷蔵庫の周囲にすき間をあけて、放熱をよくしてください。放熱がわると冷却力が弱まり、電気代のムダになります。

熱気・湿気の少ないところ

- 直射日光があたる場所、発熱器具(コンロ、ストーブなど)の近くは冷却力が低下します。



調節脚

矢印方向へ回すと前上がります。
※ 調節脚は左右異なった形状となっていますが、調節方法は同じです。



注意

サビやすい場所に設置した場合

腐食性ガスが発生しやすい温泉地や工業地帯、塩分の多い海岸地帯などでは、配管パイプが腐食し、冷えなくなることがあります。

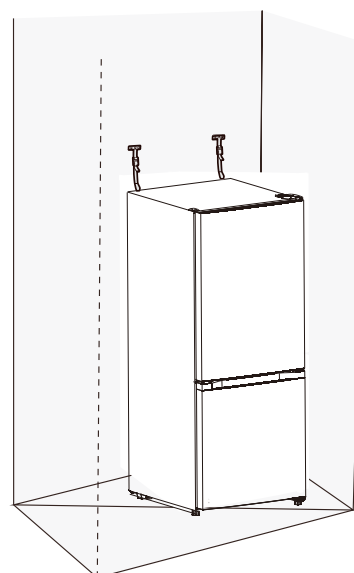
転倒防止処置をしてください

地震で倒れないように、転倒防止処置をしてください。冷蔵庫背面上端の転倒防止ベルト取り付け部に、市販の転倒防止ベルトを取り付け、背面の壁などに固定します。



注意

転倒防止ベルトを固定する壁は、十分な強度があることを確認してください。石膏ボードなどに取り付けると、壁を破損する恐れがあります。



据え付けるときは（つづき）

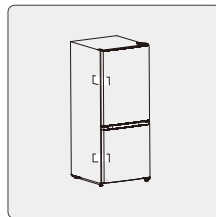
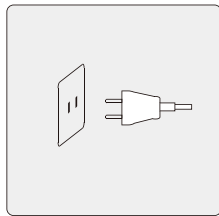
末永くお使いいただくために

庫内に入れる物に水滴や汚れがついている場合は、あらかじめ拭き取ってから入れてください。乾燥しやすいものにおいが移りやすいものは、密閉容器に入れるなどしてください。冷気の流れをよくするために、庫内に適当な隙間を開けてください。本体には、傷汚れを防止するビニールコーティングが施されている部分があります。

移動・運搬するとき

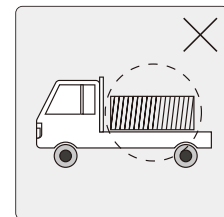
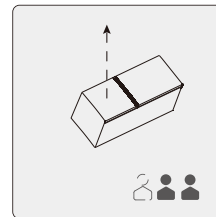
移動・運搬の前に

必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
食品を取り出してください。
ドアが開かないようにテープ等でしっかり固定してください。



移動・運搬するとき

安全上、必ず二人以上で運搬してください。
ドアを上向きに、背面上部と下部前脚を持ってください。
車などで運搬する際は横積みにならないでください。
圧縮機の故障の原因になります。



お願い

- ❗ 物を詰め込みすぎないように注意してください。
- ❗ 周囲の温度が高温になる場合は、庫内が冷えないことがあります。
- ❗ なるべく涼しい場所でお使いください。
- ❗ 梅雨などで湿度が高くなると結露が発生することがありますが、自然現象ですので異常ではありません。結露はこまめにふき取ってください。
- ❗ ドアは必ずしっかり閉めてください。冷気が逃げて、冷蔵機能が正常に動きません。
- ❗ この製品は一般家庭用です。業務用には使用できません。

アース・漏電遮断機について



注意

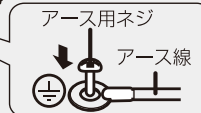
水気や湿気のある場所へ据え付ける場合、アース、漏電遮断器を取り付けてください。故障や漏電のとき、感電するおそれがあります。

次のような場所に据え付ける場合は、お買い上げの販売店に依頼し、必ずアース工事・漏電遮断器の設置をしてください。工事の費用など詳しい内容は設置業者にご相談ください。

- 土間や洗い場など、水のかかりやすいところ
- コンクリートの床や地下室など、漏水や露のつくおそれのあるところ
- その他、湿気や水気のあるところ

① アース線の接続について

- アース線はうしろ側下部にある「アース用ネジ」とコンセントのアース端子へ接続してください。
- コンセントにアース端子がない場合
お買い上げの販売店または電気工事店へ、アース工事（D種設置工事:有料）をご依頼ください。



アースの先端を確実にアース端子に接続する

次のところには、接続しないでください。

- 水道管（配管にプラスチックが使われておりアースになりません。）
- ガス管（爆発や引火の危険があります。）
- 電話線のアースや避雷針（落雷のとき危険です。）

※イラストは実際の製品と多少異なります。

アース付きコンセントが無い場合 / 湿気の多い場所に設置する場合

湿気の多い場所へ市販のアース棒を打ち込む工事（D種接地工事）を行う必要があります。

湿気の多い場所の一例

土間

コンクリート床

貯蔵庫

水滴が飛び散る場所

地下室のように結露がおきやすい場所

お願い

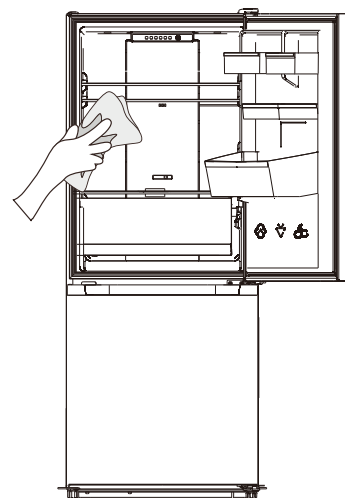
- ① 次の場所へは絶対に接続しないでください。
 - ガス管…爆発や引火の可能性があります。
 - 水道管…プラスチックの部分があるため、アースの効果がありません。
 - 避雷針や電話のアース線…落雷のときに大電流が流れるため、大変危険です。
- ① 湿気の多い場所や水気のある場所に設置する場合は、お買い上げの販売店にご相談いただき、必ずD種接地工事を行ってください。
- ① 湿気の多い場所や水気のある場所に設置する場合は、アース以外に「漏電遮断器」を取り付けることが義務付けられています。詳しくはお買い上げの販売店にご相談いただき、必ずD種接地工事を行ってください。

使用方法

はじめに

庫内を一度掃除してください

はじめて使用するとき、庫内の器具固定用テープ等をすべて取り除き、やわらかい布で拭いてください。付属品はすべて水洗いし、水分を十分にふき取ってからセットしてください。



設置のしかた

① 設置する

設置の方法について本書 11 ページ「据え付けるときには」をご覧ください。
本体を水平に置いて固定してください。

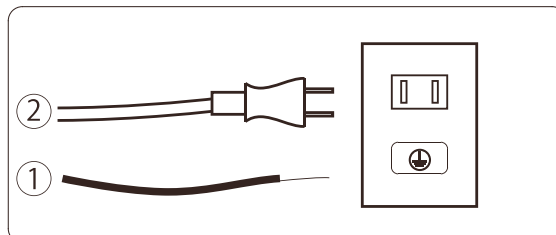
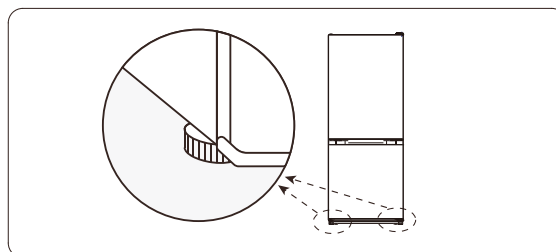
② 固定する

本体底面の調節脚を回して高さを調節してください。
調節脚は前側2箇所のみです。後側は調節できません。

③ 冷媒が安定するまで約4時間待つ

④ アースと電源プラグを差し込む

必ず①アース②電源プラグの順に差し込んでください。
アースの取り付けについては本書 13 ページ「アース・漏電遮断機について」をご覧ください。
このとき電源コードをはさみこまないようにしてください。



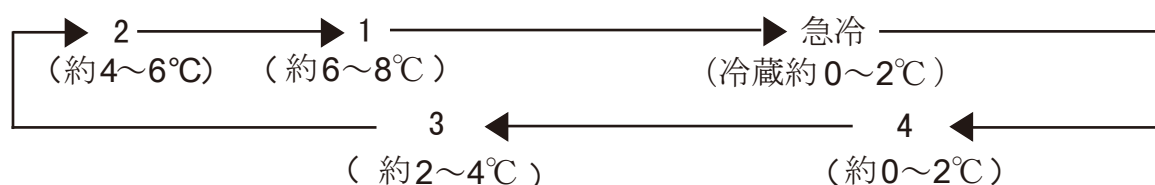
お願い 電源プラグを抜いたときは、すぐ差し込まずに6分以上待ってから差し込んでください。

⑤ 温度調節ボタンで 2 に設定し、庫内が冷えてから食品を入れる

冷蔵室の温度調節

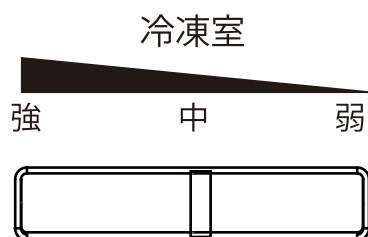


- 始めて通電する時に、全部のランプは 2 秒点灯します。
- 「設定」ボタンを押すと、冷蔵室の温度設定を変更することができます。温度設定は下記の順に切り替わります。



- 選択したい温度設定で「設定」ボタンを押すのやめると、5 秒後にランプが「点滅」から「点灯」に変わり設定が完了します。
- 急冷の設定は、30 時間以内に冷蔵室の温度を 0℃ 目標として動き、30 時間後に元の設定に戻ります。

冷凍室の温度調節



- 冷凍室を冷やしたい時は「強」側へレバーを動かしてください。
- 冷凍室の冷えを弱めたい時は「弱」側へレバーをお動かしてください。

*通常は冷蔵室を「2」に、冷凍室は「中」の位置でお使いください。

使用方法（つづき）

食品の保存について

■ 庫内にすき間をあける

食品等を詰め込みすぎると、冷気の循環を妨げ冷えにくくなります。余裕をもって保存してください。

■ ラップや密閉容器に入れる

果物や野菜、においの強いものは必ずラップや密閉容器に入れて保存してください。特に柑橘類は成分によりプラスチック部分が変質したり、他の食品ににおい移りすることがありますのでご注意ください。

■ 熱いものは冷まして入れる

食品などを熱いまま庫内に入れると、庫内の温度が上がり他の食品にも影響を与えます。十分に冷ましてから保存してください。

■ 塩気のあるものは直接庫内に触れないようにする

塩気のあるものはラップやポリ袋、密閉容器に入れて保存してください。塩分が庫内を腐食させる恐れがあります。

■ ドアの開閉は、手際よくしてください。

ドアを長い間開けたままにすると 冷気が逃げてしまいます。

■ 冷蔵室で保存するのに向かない物

バナナなどのトロピカルフルーツは食べる直前に冷やしてください。
長く冷やすと変質します。また、大根、イモなどは、変質することもあります。

■ ドアポケットの収納について

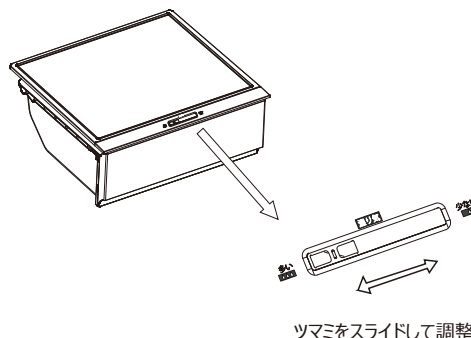
細長いびんや缶・チューブなどは、冷蔵庫内の棚に入れてください。ドアの急な開閉で倒れたり、落下の可能性があります。
卵パックがドアポケットに入らない場合は仕切り棚に置いて、保存してください。

■ 冷蔵室の食品凍結を防ぐために

通常は、温度調節ボタンを押して「2」に設定してください。水気の多い食品や缶・びんなどは、奥の冷気吹き出し口から離してください。

湿り気レバーについて

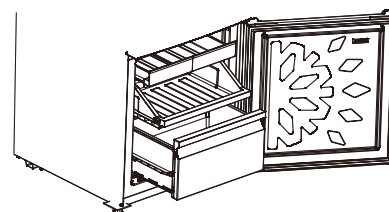
冷蔵室のフリーケースは、野菜保存と冷蔵保存の設定を切り換えができます。入れる食材に合わせて設定してください。



冷凍室の使いかた

炭酸飲料を入れないでください。破裂して庫内をよごす原因になります。
ドアを開閉するときは取っ手を持ち、静かに開閉してください。
勢いよく開閉すると、食品が庫内に落下したり、トレーが破損する原因になります。

食品は、ケースに収まるように入れてください。
入れ過ぎると、ドアが閉まらなかったり、庫内が破損したりする原因になります。食品をはさみ込むと、ドアにすき間ができ、庫内が十分に冷えません。



自動霜取りについて

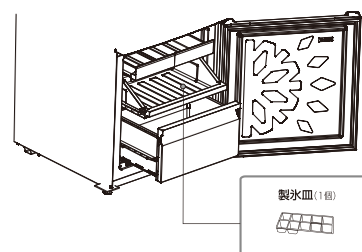
本製品は自動で霜取りをします。
霜取りで発生した水は背面の蒸気皿にたまり、蒸発します。

ドア閉め忘れアラーム

冷蔵室のドアが3分以上開いていると、アラーム音になります。
ドアが閉まっているか、食品のはみ出しやはさみ込みがないか確認してください。
アラーム音は、ピッピッピッと鳴ります。ドアを閉めると、リセットされアラーム音は消えます。

氷のつくりかた

- 1 付属の製氷皿に適量の水を入れ冷凍室に入れる。
- 2 温度調節ボタンで「4」または「3」に設定し、冷凍室冷氣調節レバーを「強」側にする。
- 3 製氷が完了したら製氷皿から氷を取り出し、温度調節ボタンをと冷凍室冷氣調節レバーを元の位置に戻す。



お願い 製氷後は必ず、冷凍室冷氣調節レバーを「中」に戻し、温度調節ボタンを押して2に設定してください。

部品の取り外し・取り付けかた



注意

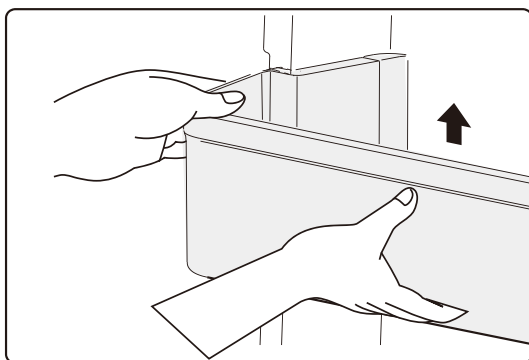
- お手入れは、電源コードを抜いてから行ってください。
- 水洗いはしないでください。

お願い

電源プラグを抜いたときは、すぐ差し込まずに6分以上待ってから差し込んでください。

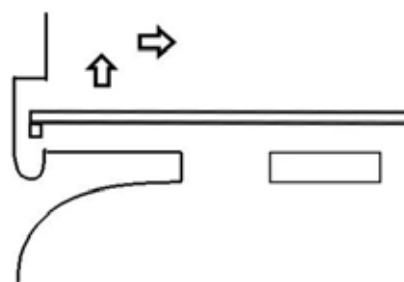
冷蔵室ドアポケット

- ドアには、ポケットを固定するための突起があります。ポケットを取りはずす場合、直接に上方に引き上げてください。



- 取り付けるときは、逆の手順で行います。取り付けが不十分だと、はずれて落下し、けがのおそれがあります。

- ガラス棚（大小）



棚の後ろ側を持ち上げ手前に引いてください。

- ガラス棚（野菜ケース上）



棚の前側を持ち上げて手前に引いてください。

お手入れのしかた

！ お手入れのご注意

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

◆ 台所用中性洗剤以外の洗剤は使用しないでください。シンナー・ベンジン・アルコールは使用しないでください

◆ 40℃以上のお湯でお手入れをしないでください。

本体表面・庫内・パッキン

水またはぬるま湯をふくんだやわらかい布をかたく絞り、汚れをふき取ってください。汚れが落ちない場合は、薄めた中性洗剤を含んだ布で拭いたあと、洗剤が残らないようによく水拭きしてください。

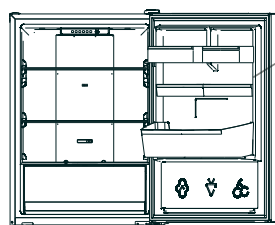
◆ 汚れを放置すると、割れたり変色したりなどの製品劣化を招く原因になります。こまめに汚れをふき取ってください。

汚れがたまりやすい場所

庫内の底

仕切り棚の底

冷蔵室ポケット

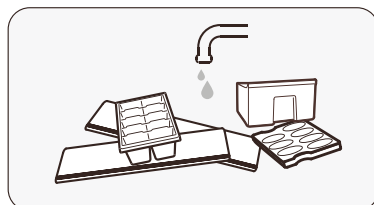


● ドアパッキンについた汚れは早めに拭き取ってください。放置するとパッキンの破損や冷気が漏れる原因になります。

仕切り棚・製氷皿など

卵ケース・ケース類など

水洗い可能です。洗ったあとは水分をよくふき取ってから庫内に戻してください。



背面・壁・床

ほこりなどの汚れを取り除く

年に1度は冷蔵庫を動かして、ほこりなどを取り除いてください。

！ 注意

● 背面の機械部分には触れないでください。運転中・停止直後は高温のためやけどの恐れがあります。

こまったときは

故障かな？と思ったときは、下記の項目をもう一度確認してください。
それでも正常に作動しない場合は、マクスゼンテクニカルセンターにご連絡ください。

症状	考えられる原因・確認事項
本体が熱くなる	放熱パイプが内蔵されているため、本体の表面や側面が熱くなることがありますが異常ではありません。使いはじめや夏季は特に熱くなることがあります。
電源が入らない 冷えない	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
庫内が冷えるまでに 時間がかかる または 冷えすぎる	●温度調整ボタンは適切な位置になっていますか？ →本書 ページ「温度調整ボタン」を参考にして、お使いの環境に合わせて温度を調節してください。 ●庫内に物を詰め込みすぎていませんか？ →庫内に冷気が流れるよう、隙間を空けて入れてください。 ●ドアを開閉しすぎていませんか？ →冷気が逃げますので、ドアの開け閉めをしすぎないでください。 ●ドアをきちんと閉まっていますか？ →ドアをきちんと閉めてください。（つかえているもの、はさまっているものを取り除いてください。） ●直射日光が当たる場所や、ストーブや熱器具の近くに設置していませんか？ →直射日光が当たらない場所や、熱器具の影響が無い場所に設置してください。 ●食品が熱い状態で庫内に入れていませんか？ →食品が冷めてから庫内に入れてください。 ●本体背面の圧縮機周辺をふさいでいませんか？周囲の風通しは悪くないですか？ →熱がこもって危険です、本体背面は絶対にふさがないでください。 また周囲に十分なすき間を空けて設定してください。（→11ページ） ●設置直後の場合、庫内は冷えるまで時間を置きましたか？ →設置直後は庫内が十分冷えるまで4～10時間かかります。夏季は24時間かかる場合もあります。

こまったときは（つづき）

症状	考えられる原因・確認事項
冷凍室の冷えが悪い	冷凍室冷氣調節レバーが弱側に調整されていませんか？冷凍室冷氣調節レバーを強側に調節し、温度調節ボタンを押して適切に設定してください。
冷蔵室の冷えが悪い	冷凍室冷氣調節レバーが強側に調節されていませんか？冷凍室冷氣調節レバーを弱側に調節し温度調節ボタンを押して適切に設定してください。
庫内がにおう	●においの強い食品を入れていませんか？ →においの強い食品は、ラップで包むか密閉容器に入れてください。 ●食品かすが庫内に付着していませんか？ →庫内をお手入れしてください。（→20ページ）
冷蔵室の食品が凍結する	●冷凍室冷氣調節レバーが弱側に調節されていませんか？ →冷凍室冷氣調節レバーを強側に調節し、温度調節ボタンを押して適切に設定してください。 ●水気の多い食品（豆腐・葉野菜など）やビン・缶が奥の冷氣吹き出し口付近に置かれていませんか？ →水気の多い食品は凍る恐れがあり、ビン・缶は凍って破裂する恐れがあるため冷氣吹き出し口の近くには置かないでください。 ●周囲の温度が低すぎませんか？（5℃以下） →温度調節ボタンを押して適切に設定してください。（→15ページ）
庫内に露がつく	●水気の多い食品をそのまま入れていませんか？ →水気の多い食品はラップをして入れてください。 ●ドアがきちんと閉まっていますか？（食品がつかえている、ドアにものがはさまっている） →ドアをきちんと閉めてください。（つかえているもの、はさまっているものを取り除いてください。） ●ドアを開閉しすぎていませんか？ ドアが長時間開いていませんか？ →ドアの開け閉めをしすぎないでください。

症状	考えられる原因・確認事項
外側に露がつく 凍結する	梅雨時など湿度が高いとき、外側に露がつくことがあります。凍結防止のため、放熱パイプが通っていますが、湿度が高いと一時的に結露することがあります。露は乾いた布で拭き取ってください。
本体がガタガタ する	●不安定な場所に設置していませんか？ →平らな場所に設置し、調整脚で高さを調整してください。(→11ページ) ●周囲の壁などに触れていませんか？ →壁などから離して設置してください。(→11ページ) ●周囲に落ちたものなどが接触していませんか？ →接触しているものを取り除いてください。
音が気になる	●液体が漏れるような音(チョロチョロ、シューシュー等)ではありませんか？ →冷蔵庫を冷やすための液体の音です。異常ではありません。 ●冷蔵庫の周囲や上にあるお盆、容器などがビビリ音を出していませんか？ →音をはっているものを取り除いてください。 ●コンプレッサーの音ではありませんか？ →冷蔵庫はコンプレッサーを運転したり停止したりして温度を調節しています。コンプレッサーが動き出すときは少し音が大きくなります。

年間消費電力量について

- ◆ 製品の仕様、およびデザインは改良のため予告なしに変更することがあります。
- ◆ 年間消費電力量は、日本工業規格JISC9801(2015年版)に定められた測定方法と計算方法において得られた数値を表示しています。
- ◆ 消費電力量は、JISC9801-3:2015に基づいて表示しております。
実際にお使いになるときの消費電力量は、周囲温度や湿度、ドアの開閉頻度、新しく入れた食品の温度や量などによって変化しますので目安としてください。
- ◆ 定格内容積は、日本工業規格JISC9801-3:2015に基づき、庫内の温度制御に必要なでない部品(棚やケースなど)をはずした状態で算出しています。

製品仕様

品名	2ドア冷凍 / 冷蔵庫 282L (ホワイト・ガンメタリック)
品番	JR282ML01WH / JR282ML01GM
本体色	ホワイト / ガンメタリック
外形寸法	W595×D671×H1,520mm
重量	54kg
定格内容積	282L (冷蔵室:195L 冷凍室:87L)
電圧	100V～ (50/60Hz)
定格消費電力	電動機:100W/100W 電熱装置:150W
年間消費電力量	339kWh/年 (50/60Hz 共通)
駆動音	29dB
電源コード長	約1.8m
冷却方式	ファン式 (庫内温度調節ボタン付き)
冷媒	ノンフロン R600a
使用環境	周辺温度:5~35℃、周辺湿度:20%~80% (結露なきこと)
製造国	中国
付属品	製氷皿、卵ケース、冷蔵室仕切り棚×2
	冷蔵室ポケット(上)、冷蔵室小物ポケット、冷蔵室ポケット(下)、
	仕切り棚(湿り気レバー)、冷凍トレイ(上)、冷凍トレイ(下)、冷凍ボックス、
	取扱説明書(保証書付き)

電気冷蔵庫を廃棄するとき

- 扉が密閉できないように、ドアパッキンをはずしてください。また、幼児が遊ぶところには放置しないでください。幼児が閉じこめられると危険です。
- 2001年4月施行の家電リサイクル法ではお客様がご使用済みの電気冷蔵庫を廃棄する場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

修理サービスについて

基本的な取り扱い方法、故障と思われる場合のご確認

ホームページ上にも情報を掲載しておりますのでご覧ください。

www.maxzen.jp

故障と思われる場合のご相談について

この取扱説明書内にあります「故障かな?と思ったら」の内容や上記ホームページをチェックしても問題が解決できない場合、まず電源プラグを抜いてお買い上げの販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターまでご連絡ください。

マクスゼンテクニカルセンター TEL:0570-099-455

mail : mtc@maxzen.jp 受付時間：平日9:00～17:00 月曜～金曜日（祝日を除く）

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供することがあります。

修理について

当社では原則的に出張修理を行っておりません。
センドバック修理となりますので予めご了承ください。

部品について

修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない限り
当社で引き取らせて頂きます。また、修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店もしくはマクスゼンテクニカルセンターが修理をさせていただきます。

保証期間が過ぎているとき

修理をすれば使用出来ると思われる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金について

修理料金は、技術料・部品代・製品の送料などで構成されています。当社では原則的に出張修理は行っておりません。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
送料	製品を修理会社まで運搬するための費用です。

廃棄時にご注意願います。 家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。



愛情点検

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際
このような症状は
ありませんか？

- 電源コードや本体などが異常に熱い
- 電源コードに深い傷や変形がある
- 焦げくさいにおいがする
- 本体に触れるとピリピリと電気を感じる
- その他の異常・故障がある

ご使用
中 止

このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

保証書

- 保証期間はご購入日から1年間です。保証対象は機器本体のみです。
(保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証規定をよくお読みください)
- 保証期間中は保証規定に従い無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎている時はご購入の販売店又はマクスゼンテクニカルセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はご要望により有料修理いたします。

保証書			
製品名	2ドア冷凍 / 冷蔵庫 282L		ご購入履歴を印刷いただき本書と一緒に保管してください 保証書のお買い上げ日については商品出荷日となります 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください
製品型番	JR282ML01WH / JR282ML01GM		
お買い上げ日	年 月 日		
故障の状況	できるだけ具体的に		
接続している機器			
お名前			
ご住所			販売店
電話番号			

保証規定

- 1.修理はご購入の販売店又はマクスゼンテクニカルセンターに必ず製品本体と保証書を提示の上、ご相談ください。
- 2.ご贈答、ご転居の際は、ご購入の販売店又はマクスゼンテクニカルセンターに必ず製品本体と保証書を提示の上、ご相談ください。また、保証書には、ご購入履歴を印刷いただき一緒にご提示ください。
- 3.次のような場合、保証中でも有料修理になります。

- ・火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷等の天災地変による故障や損傷。
- ・指定以外の電圧を加えたことによる故障や損傷。
- ・ご購入後の落下、移動等運送上の破損及び取り付け時の破損や損傷。
- ・保証書の提示がない場合。
- ・保証書にお客様名、ご購入日、販売店名の記入がない、又は字句を書き換えられた場合。
- ・一般家庭用以外での業務用に使われた場合(本製品は一般家庭用であり業務用ではありません)
- ・使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障および損傷。
- ・不具合の原因が本製品以外(外部要因)による場合。
- ・車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷。
- ・オークション、フリマサイト、中古販売にて購入された商品の場合。
- ・離島又は離島に準ずる遠隔地へ引取修理を行う場合の送料。

- 4.本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in japan.)
- 5.保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

memo

MAXZEN

マクスゼン株式会社

マクスゼンテクニカルセンター

受付時間9:00-17:00(土・日・祝日・夏季・年末年始を除く)

TEL:0570-099-455

mail : mtc@maxzen.jp

○本製品には、保証書が付いています。ご購入の販売店名、ご購入年月日のご記入なきものは、無効となりますので必ずご確認ください。

○本製品ならびに本書は、改善のために予告なく変更する場合があります。

○本書の内容の一部または全部の無断転載を禁じます。

○本製品の使用・故障によって生じた、直接・間接の損害については、弊社はその責任を負わないものとします。

●乱丁本・落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店、またはテクニカルセンターにご連絡ください。

Copyright ©MAXZEN,Inc All Rights Reserved.